

外来における在宅療養支援能力向上のための研修

講義（eラーニング）と演習（集合研修）を組み合わせた研修です

在宅療養支援の要となる外来看護職を対象とした研修です

講義（eラーニングによる自己学習）と演習（集合研修）で実践力UPを目指します

研修目的

- 外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
- 習得した知識を、在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

対 象

外来勤務の看護職（常勤や非常勤等の雇用形態、また、短時間勤務等の勤務形態は問わない。救急外来勤務も含む）

* 施設内研修の実施が難しい施設に所属する方に特にお勧めします

受講方法

インターネットを利用したeラーニング講義を受講後、演習を受講します。

（演習受講には、eラーニング講義の修了が条件となります）

eラーニング：自己学習 演習：広島県看護協会での集合研修

受講日時等

【eラーニング受講】2024年11月6日～12月9日

【演習】演習日時：2024年12月14日（土）13:30～16:00

演習会場：広島県看護協会（広島市中区広瀬北町9-2）

受講料

会員：2,500円（税込） 非会員：6,250円（税込）

申込方法

申込み期間：8月30日～9月10日

本会ホームページからお申込みください。 本会HP⇒研修一覧⇒2024年度⇒12月 研修No.50

【お問合せ先】広島県看護協会 看護生涯教育・研究センター
継続教育部 TEL：082-503-2381

外来における在宅療養支援能力向上のための研修

プログラム

● eラーニング講義【200分】

章	単元／主な内容	講師(所属等)	時間
1	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割 1. 外来看護を取り巻く環境の変化 2. 外来医療に関する政策動向 3. 社会の変化と政策動向に基づく外来看護職の役割	吉川久美子 (公益社団法人日本看護協会常任理事)	40分
2	外来における在宅療養支援 1. 在宅療養支援とは 2. なぜ在宅療養支援が必要か 3. 在宅療養支援を担う看護職の役割	永田智子 (慶應義塾大学看護医療学部教授)	40分
3	在宅療養を支える地域連携とネットワーク 1. なぜ地域連携が必要か 2. 地域との連携体制構築の方策	吉田千文 (常磐大学看護学部教授)	40分
4	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援 1. 意思決定の現状と課題 2. 外来看護職に求められる意思決定支援	藤井淳子 (東京女子医科大学病院 家族支援専門看護師)	40分
5	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源 1. 在宅療養患者が活用可能な社会資源の基礎知識 2. 地域における多職種連携・協働の実際と推進の必要性	松本明子 (医療法人社団聖カタリナ病院ナースマネージャー)	40分

● 事前課題

eラーニングによるすべての講義を受講後、演習実施前までに下記の①・②、または①・③について、各自がまとめる。(A4 1~2枚程度) *** 演習当日に持参**

- ① 地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
- ② 外来看護に関する実践事例
- ③ 外来における療養支援について自身が感じている課題

● 演習【150分】 *** 演習受講にはeラーニング修了が条件です**

主な内容	
講義	地域の現状や自施設を取り巻く状況等について
事例検討	グループディスカッション
全体共有	グループからの報告及び質疑応答・意見交換